

第1号議案

令和7年度 事業概況報告

滋賀県で開催された国スポ・全障スポでは、ビーチバレー少年女子は、1回戦で、準優勝した福島県チームと対戦し、惜しくも敗退となりました。一方で、全障スポに出場した長野県女子チーム(知的の部)は、2回目の出場ではありますが、見事に優勝を果たしました。2028 長野国スポに向けては、さらに、気持ちを高めていただき、チーム強化につながっていくことを願います。

また、長野国スポ大会運営の準備にあたっては、長野県や松本市・安曇野市・大町市・高森町の国スポ担当課との具体的な協議・調整を進めており、県協会・地区協会・加盟団体の関係役員の皆様には、競技施設・用具の整備、役員・補助員の動員・育成、リハーサル大会の内容調整など、本大会への準備がさらに進んでいます。引き続き、関係の皆さまのご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

財務体質改善においては、JVAのMR S登録制度改革として、持続可能な組織とするための制度見直しを進めており、会員の皆さまの地道な協賛獲得活動と併せて、懸案となっている財務体質の改善が実を結びつつあり、2025 年度も黒字会計となりました。今後も、さらなる改善に向けては、関係の皆さまの協力をお願いいたします。

部活の地域展開では、県内で地域クラブが発足されており、多くの自治体で土日と平日の段階的な移行が進められています。バレーボール協会としては、中学生の競技人口の減少を、できる限り抑えるため、教育委員会の動向を注視しながら、中体連・ヤングクラブ・指導普及委員会などが連携して、バレーボールができる環境の整備を進めていくこととします。

また、女子競技人口増加事業として開催した、ママさんと女子中学生のバレーボール交流会をモデルケースとして中信地区で行い、中信4地区のママさん連盟の協力によって無事に開催できました。開催にあたっての諸課題はありますが、今後は、県内全体での交流会の開催に向けて、引き続き、取組みを進めます。

情報発信としては、新たな県協会ホームページを開設しました。情報のスピードアップ、スマホやタブレットを前提とした見やすい画面構成、SNSの活用など、まだまだ改善は必要です。引き続き、会員の皆さまに、積極的に活用していただきながら、不断の改善に取り組めます。

2025 年度は、5つの北信越大会を長野県で開催しました。7月の北信越ママさん大会、8月の北信越小学生大会、2月の北信越高校新人大会、3月の北信越中学新人大会と北信越クラブ9人制大会が、加盟団体の尽力により、無事に大会を開催することができました。

SVリーグ・Vリーグにおいては、今シーズンも4チームのホームゲームが10月18日から翌年4月12日までの間で、土日30週、延べ56日で開催されました。関係地区協会や関係役員のご理解・ご協力に感謝を申し上げます。Vリーグでは、信州ブリリアントアリーズが、昨シーズンに引き続き、Vリーグ女子の王者に輝き、二連覇を達成しました。

なお、コンプライアンス案件については、残念ながら、2025 年度も4件発生しました。チーム関係者の案件であり、今後も、引き続き、「コンプライアンス案件ゼロ」を目指して、研修会の開催、ホームページでの呼びかけなど、具体的な取組みを進めていくこととします。

最後に、会員の皆さまの、さらなるご支援とご協力をお願いしまして、令和7年度の事業概況報告といたします。